

## 新 年 ご 挨拶

会長 小亀輝雄

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

我が国では一昨年自民政権が崩壊し、政権交代が行われましたが、「政権後退」と揶揄されるほど、政治は依然として混迷を極め、この国の未来がなかなか見えてきません。「党利党略」「自分だけ良ければ良い病」から脱却して、この国を若い人たちに夢の持てる国にするため、国民ひとり一人が真剣に考えなければならない年であるのではないかと思います。

去年は早稲田大学校友会の設立125周年で記念式典が行われました。この記念すべき年に三多摩支部では今まで稲門会が出来ていなかった武蔵村山、東大和、羽村の三市に稲門会が設立され、これで三多摩全26市に稲門会が設立されました。去年は当会が三多摩支部の幹事稲門会となり支部大会を開催いたしました。皆様のご支援により、無事行う事が出来心から感謝申し上げます。

さて、我が東村山稲門会も設立15年目を迎えることになりました。この間歴代の会長や役員の皆様また会員の皆様のご協力・ご支援により活発な活動を続けて参りました。当会自慢の毎月発行しているニュースは今回で166号となりました。また、市民の皆様にもご参加頂いています雑学講座も昨年12月で70目となりました。新年会、お花見会、納涼会、お誕生会などの行事も多く皆さんのご協力です楽しい会になっています。また、各同好会も活発な活動を続けております。

しかし、問題点もあります。一つは会員の高齢化と会員数の減少です。今年は何としても会員を増やす努力をしたいと思っています。皆様のご協力を是非お願い致します。もう一点は会員の皆様が「評論家」になるのではなく、ひとり一人が稲門会を作っていくという意識で、活動にご参加頂きたいと思っています。役員会にお出でになり、ご意見やご提案を頂ければ嬉しく思います。

最近「無縁社会」と言われ、血縁、地縁、社縁が薄くなり、第4の縁を構築しなければならない時代になったとも言われています。また、東村山市の第4次総合基本計画の中では目指すべき町の姿とし「・・・多様な市民がいきいきと個性を発揮しながら、社会的に孤立することなく、互いにつながり、支え合うことで、新たなものを生み出す、協働・協和の町を目指します。そして、あたたかな笑顔に満ちあふれた喜びや誇り、そして明日への希望が次代へとつながる、元気で活力のあるまち『東村山』を目指します。」と述べています。

早稲田の卒業生は一匹狼が多く、群れるのが嫌いなどとも言われます。しかし皆さん我が稲門会は年齢や、専攻分野は異なりますが、皆個性的で素晴らしい仲間です。早稲田で学んだと言う「縁」を大切に、これからも楽しい会をつくり、ささやかながら東村山市の目指す町作りにも貢献できればと思います。今年もどうかよろしくお願い致します。

### 会からのお知らせ

#### ○ 平成23年2月 定例役員会

日時：平成23年2月5日(土) 13:00～14:30  
場所：サンパルネ コンベンションホール(東村山駅西口駅ビル2F)

#### ○ 22年度会費納入のお願い

稲門会の活動が本格的に始まりました。22年度(平成22年11月～23年10月)の年会費5,000円を下記の方法で1月末日までにお振込みいただきますようお願いいたします。

- ① 郵便振替口座 同封しました専用の払込取扱票をご利用ください。  
番号：00160-0-112250 名義：東村山稲門会
- ② 銀行普通預金口座  
みずほ銀行久米川支店 口座番号：1876557 名義：早稲田大学東村山稲門会

なお、11月の定期総会に出席された会員は会場で納入いただいております。

## ○ 第71回雑学講座

日時 : 平成23年2月5日(土) 15:00～16:30  
 場所 : サンプルネ コンベンションホール(東村山駅西口駅ビル2F)  
 講師 : 清水 元氏(日本紅茶協会名誉顧問 国分寺稲門会幹事長)  
 演題 : 「ティーパーティーを楽しもう 世界の三大銘茶飲みくらべ」

平成21年8月8日、第64回雑学講座で「紅茶の話あれこれ」と題し、清水氏とシニアインストラクターの田中公子さんに講演いただき、たいへん好評でした。

今回はサンプルネの広い会場を使い、ティーパーティー形式による講演と銘茶の飲みくらべを企画しました。ご期待ください。



## 第70回 雑学講座 (映画の会)

大盛会 参加者114名

2010年12月4日(土) 15:00～17:30  
 於 東村山サンプルネ コンベンションホール

東村山稲門会の雑学講座も、既に11年(第一回 平成11年1月)が経過し、70回を積み重ねました。一重に皆様のご愛顧のお陰であり、心より御礼申し上げます。70回と言う節目でもあり、今回は初めての試みである映画会を行いました。私共が青春時代に見た懐かしい名作を、再び皆様と共に鑑賞し感激を新たにしたいと言う試みです。今回 映画会の第一回として、殆どの方がご覧になっていると思われる「若草物語」を上映しました。当日約114名の方々が来場され大変好評でした。特に 稲門会会員のみでなく、一般市民のご参加が多く、意義ある催しになりました。

この映画は南北戦争中の著者の自叙伝的実話で、戦時中にも拘らず、貧しくとも逞しく率直に生きる それぞれに個性のある四人姉妹の姿に心癒される一時を過ごしました。

当時 北部の近代化、工業化が急激に進み、映画の中にも時代を反映する多くのシーンが登場しており、同時期 日本(明治維新)も ヨーロッパも激動の時代であった事を考え合わせると 物語を離れて、政治、文明と言う意味でも興味深い映画でした。

この映画化は 原作から80年後(1949)で、4姉妹を演じているのは 時代を代表する女優でそれだけでも 私共の青春を甦らす懐かしい映画でした。(ジャネットリー、ジュリアン、エリザベス・テイラー、マーガレット・オブライエン) 上映した会場では スクリーンが大きかったせいで 後の席からはスーパーの文字が見難かったことで一部の方にご迷惑をお掛けしました。プログラムの選定等を含め今後の課題となりました。

(福田昇七 記)

## ☆第70回雑学講座 今期新入会員第1号獲得にも寄与☆

昨年11月21日の総会で、小亀会長より当面の課題として発言のあった「会員の増強」。第70回雑学講座がきっかけで、下記のように早速その実績ができました。(誕生会世話人の南湖さんの同期で、栄町在住の佐々木晶敏さん。この3月にはサラリーマン生活に一区切りつける予定とのこと。今後の活躍が期待されます。)

「13町で各1名の新入会員獲得、計13名の増強で再び会員200名台に」という会長の提案を、栄町は早くも実現しました。

雑学講座は原則偶数月の定例役員会の後実施、映画鑑賞会は初めてでしたが今後年1回は開催したいと思っています。地域に開かれた稲門会を目指す意味からも、会員の皆さんから積極的なご意見をお待ちしています。

(當間 記)

### ○ 新入会員

佐々木 晶敏さん S48商  
 栄町 3-4-11 TEL 397-6681  
 (南湖修一さんのご紹介です)

坂本 英夫さん (再入会) S38商  
 萩山町 1-10-11 TEL 346-5360

### ○ 住所変更

飯村 和子さん  
 新住所 野口町3-9-14 ライラックレスト 103号 TEL 394-8775

## ○ 大学関連行事

## 「2010年商議員フォーラム」及び「鎌田総長就任ご挨拶の会」

2010年12月11日（土）15時より大隈講堂で、商議員フォーラムが開催され鎌田新総長が①グローバル化②少子高齢化③低成長経済の中で、早稲田大学の目指すべき基本的な方向性について45分間熱弁を振るわれた。続いて16時30分よりリーガロイヤルホテルで「鎌田総長就任ご挨拶の会」が各界の著名人をお招きして開催された。鈴木文部副大臣のご挨拶のあと、出井評議員会長、清家慶応義塾塾長、森喜朗国会稲門会会長からお祝いとお礼の言葉を述べられた。（フォーラムには小亀・山下出席 就任挨拶の会には三宅前会長・井原監事も出席しました。）

## ○ 校友会関連行事

## 東京都23区支部・東京三多摩支部合同会長懇話会開催

2010年12月17日18時30分より、母校大隈記念タワー「西北の風」で上記の会が開催された。本年度三多摩支部長の小亀会長の司会で進められ、海老沢東京23区支部長の挨拶のあと鎌田新総長が今後の早稲田大学の進むべき方向性について丁寧にお話をされ、世界に通用する、知力だけでなく「人間力」のある人材を育てる必要性を強調された。第2部では懇談会が行われ福田校友会代表幹事から、東京の校友会が中心となって校友会の発展の力になって頂きたいとの期待が述べられた。最後は元応援部監督、岩上健一氏（世田谷稲門会会長）のリードで校歌を高らかに歌い散会となった。（出席者稲門会会長51名、大学側6名・幹事稲門会4名）当会から小亀会長、當摩彰子副会長が出席した。



## 早稲田大学理事に就任して 一人を育てる東村山稲門会一

迫田 実（S52社学）

私は、東村山稲門会ニュース第165号（平成22年12月4日発行）で早稲田大学理事就任のご紹介をいただきました迫田です。東村山市には長男の誕生をきっかけに1989年に調布市から引っ越してきましたので、21年間お世話になっていることになります。

引っ越した当時、本学職員として現稲門会会長の小亀様の他に高柳様、神保様、上様、井原様そして同期入職の崎山さんなどがお住まいで、同じ市民ということも手伝って公私ともに様々な場面でご指導いただきました。特に、小亀様、神保様には、私が人事部員時代に人事課長、人事部長として厳しくご指導いただきました。また、本学理事を務められました井原様（現実践女子大学理事長）には、「私立大学経営論」、「私立大学職員論」、「早稲田大学職員論」を平日、休日にかかわらず飲み屋（久米川駅南口「焼き鳥・むらやま」が大半です。）に呼び出され（強制的？）、とうとうとご教授（説教に近い）いただきました。

私が理事に就任できましたのは、こうしたみなさんのお蔭だと感謝しております。また、稲門会の諸活動を拝見して、本学職員に限らず東村山にお住いの校友の方々は、人を育てる、つまり本学の三大教旨である「模範国民の造就」というDNAを引き継がれているものと思っています。

さて、昨年11月8日に鎌田新総長のもと理事会が発足しました。新理事会「鎌田丸」は、前理事会が策定した中長期計画である「Waseda Next 125」を継承しつつ、「グローバル化のさらなる推進」、「学生にとって魅力ある大学」、「財政的基盤と組織体制の強化」をめざす方向性として定め大海原に出港したわけです。しかし、決して穏やかな船出ではなく、リーマンショック以来日本経済が陥っている慢性不況や「2位ではダメなのですか？」ですっかり有名になった事業仕分けによる教育研究補助金の廃止、大幅な減額など本学を取り巻く環境は一層厳しく、荒れ狂う海原への船出と言って過言ではありません。

しかし、鎌田総長は、「厳しい時だからこそ本学の特色である多様性を一つに結集して、この状況をチャンスと捉え継続的な大学改革を推進しなければならない。」と力強く宣言されています。私も理事会のメンバーとして特に「職員力」の向上をめざすことで大学の発展に寄与したいと考えています。

東村山稲門会のみなさまには、引き続き本学へのご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

## ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407  
土橋雄次 393-5708

第23回のウォーキングの会は下記要領で実施いたします。事前の申し込みは不要ですので、当日ご都合のつく方の参加を歓迎します。

「新井薬師から哲学堂公園、林芙美子記念館へ」

- ① 日時 1月28日(金)
- ② 集合場所 東村山駅中ほど 午前9時30分
- ③ 行程 中井駅—林芙美子記念館(ガイド付き)—哲学堂公園—明治寺—  
新井薬師—新井薬師駅

参加費無料。但し交通費、昼食代、飲み物各自負担。

当日雨天の場合は中止としますが、一応高橋まで電話にてご確認ください。

(高橋 記)



## 第22回ウォーキング記 (11月26日)

後楽園駅を起点に本郷界隈の樋口一葉旧居跡などの裏小路をたどって、見ごろの東大構内のいちよう並木や三四郎池の紅葉を楽しみながら、目玉の旧岩崎邸のガイドツアーには遅刻したが、邸内の贅を尽くした造作を見学。大河ドラマの岩崎弥太郎の本来の姿を思い浮かべました。

そのあと湯島天神に参拝後、昼食。上野公園から秀忠創建になる寛永寺を経て鶯谷駅までのウォーキングを行いました。

(高橋 記)

参加者： 青山・小林・滝来・高橋・土橋・額田・  
松永・町田(敬称略)

## ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



## 2010忘年ゴルフ会顛末記 —豪雨のち快晴—

みなさん、昨年12月3日(水)の朝を思い起こしてください。明け方からのあの激しい雨脚を・・・。

この日は予報通り雨は時間を追って激しくなり、7時前から8時ごろは豪雨の状態、会場の狭山ゴルフ場の近辺では、ハイパーも効かず前が見えない状態、道路は川の中を行くような状態でもとてもゴルフがやれる状態ではありませんでした。

ところが、我々の願いが天に通じたのか7時半頃には小降りとなり、8名の参加者全員が揃い、スタートし始めた9時にはすっかり上がるという奇跡的天候回復となりました。

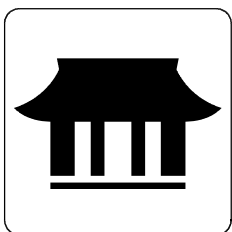
その上、さすが名門一流コースとあって、コース内は水溜まり一つ無く、グリーンも平常とならん変わらない状態で、1時間半前までのあの豪雨は何だったのという感じ。

①紅松(容)、内藤、高部、関 ②堀田、相馬、津野、井垣の2組で、難しいグリーンに手こずりながらも、乗用カート無しの歩き通しゴルフを気分良くプレーしました。

バンカーだけは、ところどころでわか水溜まりがあり、23℃くらいまで上がった暑い日射しの中で、カラスたちが気持ちよさそうに水浴びしている様子が印象的でした。

## 郷土史の会

世話人 江藤昌明 TEL 391-4076  
伊藤友己 398-1352



郷土史の会の1月の会合は、初詣を兼ねて狭山山不動寺の探訪を行いたいと思います。

狭山山不動寺には、芝増上寺から2代将軍徳川秀忠の霊廟の勅額門、天人門それにNHK大河ドラマのお江与の方、崇源院（徳川秀忠夫人）霊廟の仕切門であった丁子門等が移築されています。かつては国宝に指定されていたこれらの建築物を見学し、また江戸時代に庶民の信仰を集めた山口観音金乗院を拝観して来たいと思います。

記

日時： 1月15日（土）10:00～12:00  
集合場所： 西武球場前 9時50分  
電車： 八坂9:26 →西武遊園地→西武球場前9:40  
東村山9:33→所沢→西所沢→西武球場前9:50  
解散： 正午頃

(伊藤 記)

## テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



12月の例会は、12月18日（土）、久米川第3コートで行われる予定でしたが、霜のため中止となりました。お集まり頂いた市川（彰）夫人、滝来（京）、高橋（一）當間の各氏には、世話人の連絡不十分のため申し訳ないことをしました。晴天続きで安心していたので、霜で中止になるとは予想外でした。

さて、懸案だった「温泉での合宿」が、當間さんのご提案により実現することになりました。参加希望者は、1月9日（日）までに田島宛ご連絡ください。

日程 ①23年3月11日（金）～12日（土）または  
②23年3月13日（日）～14日（月）

場所 山梨県石和温泉「かんぽの宿石和」

費用 約1万5000円

今後の予定

1月 9日（日） 9時～11時 運動公園A  
（予備日 1月21日（金）13時～15時 久米川コート5、前号  
ニュースの予備日を変更）

2月は、抽選で取れたコートは見直し、12月20日以降の随時申込みをしますので、決定次第、会員には個別にご連絡します。

## カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



1年を締め括る忘年カラオケ大会を12月4日開催。常連全員参加し熱のこもる楽しい会でした。

参加は井垣、井手、石坂、高部、滝川、高鷲、南湖、山下、内藤の各氏9名。声慣らしの後1曲のみの勝負。最後まで熱戦を展開。井手氏高鷲氏内藤が同点で最後の井垣氏に勝負を託す。同氏が今年最高の熱のこもる歌を披露。92点獲得、優勝を飾る。

全員が昨年をうわまわる得点を叩き出し本当に楽しい会でした。来年も楽しく集まり歌いましょう。

今後の予定

1月8日 （土）17:10より カラオケランド ズー  
2月5日 （土）17:10より カラオケランド ズー

## 園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033



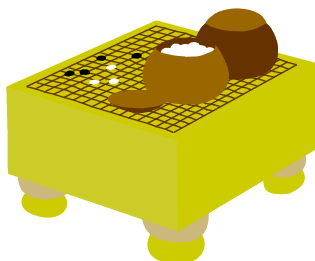
次回の園芸の会を下記の通りに行います。今回はさくら草の芽とさぎ草の球根の交換会です。初心に返って芽と球根の植え付けを、藤澤リーダーの指導の下であらためて実地に行ってみようと思います。自分の芽や球根の出来が悪くても気になさらずに、数多くの方の参加を期待しております。

記

日時 平成23年1月25日(火) 午後3時～5時

場所 東村山市民スポーツセンター、スポーツクラブ室

## 囲碁同好会

世話人 福 田 晃 TEL 394-0593  
高 鷲 近 394-2336

●12月の「例会」は、18(土)、午後1時よりいつもの市民センター別館で開催されました。今回は世話人のチョンボで、開会時間を間違えてご案内し、ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

それにもかかわらず10名のかたにご参加いただき、熱い戦いを展開しました。その結果、高橋(鶴)さんと福田さんがともに3勝1敗と好成績をあげられました。ほかの皆さんも、お疲れ様でした。

<参加者/順不同> 野村・一色・杉山・高鷲・江藤・八木・佐久間・福田・堀田・高橋(鶴)

○次回の例会は、2月の第3土曜日を予定しています。詳しくは、次号の『稲門会ニュース』でお知らせいたします。

## 俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井 垣 和 太 04-2924-2934



第54回「稲酔」俳句会の日程は下記の通りです。

記

開催日時 : 2月26日(土) 午後1時から

会 場 : 恩多ふれあいセンター 多目的室

兼 題 : 「早春」

出 句 : 兼題句及び当季雑詠計五句

投句参加も歓迎いたします。前日までに世話人宛。

《兼題「早春」》〔初春(しよしゅん)、春の初め、春さき〕

立春後、二月いっぱいぐらいのころをいう。暦の上では春であるが、寒さはまだきびしく、氷も張れば雪も降り、実際の気象は冬といってよい。しかし風物のどこかに春のけはいを感じとるころで、張る氷にも、降る雪にも早春の情が深い。(角川図説大俳句歳時記)

早春の心光りつ多摩に沿ふ  
早春の山筐にある日の粗さ  
早春や吾も鴉もひそとゐて

斌雄  
綾子  
真砂女

(稲雀 記)



## 音楽メディアと クラシック音楽の薦め

福田 昇七 (S36理工院)

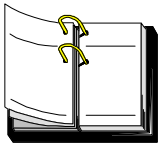
私が初めてクラシック音楽に接したのは 14 歳ぐらいの時、60 年もさかのぼる。当時 78 回転のSPレコード で電蓄(電気蓄音機)も珍しい時代に、スクラッチノイズと共に聞き入った。その後、45 回転のドーナツ版 がジャズの大流行と共に主流になり、同時期にクラシックの世界では 33 1/3 回転のLP の時代に入った。私が最初に手に入れたLPは、1952 年コロンビアから発売された「白鳥の湖」と「交響曲 悲愴」(チャイコフスキー)であった。もちろんモノラルである。一般にSPでは交響曲だと5枚以上必要だったのが、LPは1枚の中に収録され、音質も良く、雑音も少なく 正に夢のレコードの出現であった。

既製品の再生装置も入手困難な時代で、プレーヤーも モーター、ピックアップを部品で別々に購入し、又アンプも3極管(2A3プッシュプル・・・懐かしく思われる方も多いでしょう) で自分で組立てて聞いた。そして ステレオ時代到来。これ以後 記録メディアの発展変遷も華々しく磁気テープの出現。まずはオープンリールから始まり、小型化されたカセットテープの出現で取扱いが便利になり、1960 年代には車の中でステレオ音楽が楽しめる時代になった。その後 記憶モード技術もアナログから 広帯域でノイズの無いデジタル方式に進化して行く。メディアも MD、CD と板状で軽くなり取扱いも便利になって現在の主流になった。

一方 iPodやソニーのウォークマンの様に、パソコンの技術(HDD)を導入した超小型化携帯プレーヤーも出現した。今後は半導体メモリーの時代に進化して行くが、価格が高く家電領域への進出には未だかなりの時間を要するだろう。音楽に親しんでこられた皆様も、メディアの買換え、そして プレーヤーの買換えと、これらの進歩に付合って、多く散財させられてこられた事とお察しします。

以上は オーディオの世界だが、映像の世界も 磁気テープ → レーザーディスク → DVD → 半導体メモリー と同じような道を辿っている。正に 7トラックの音響、3Dハイビジョン映像と進歩は図り知れず、エコポイントに乗って急激に普及している昨今だが、これらの技術の進歩を享受出来る今の幸せを、私共は十分に味わいたいものである。

私達の周囲には 色々な時代の音楽、色々なジャンルの音楽が溢れている。人それぞれに好き好きはあるが 私は人様に「クラシック音楽」に親しむ様に勧めている。私共が今耳にする音楽は 1750 年以降の作曲が殆んどである。クラシックの領域では、例えば ハイドンは 生涯 交響曲 104 曲、モーツァルトは 41 曲、ベートーヴェンは 9 曲 作曲している。その他の雲霞の如くいる有名・無名の作曲家が作った曲は膨大な数になる。しかし 現在 私達が演奏会やCDで出会う事が出来る曲は その万分の一にも満たない。これは 様々なジャンルの人々が、長い時間を掛けて選りすぐり 淘汰させてきた曲だけが残ったからである。その意味ではクラシックは名曲揃いである。作曲された交響曲(9 曲)全てが常に演奏されCD化されているのは、ベートーヴェンぐらいで、交響曲の父と呼ばれたハイドンも、作曲した交響曲 104 曲の内 殆んど数曲しか我々の耳に届かない。モーツァルトも然り。視点を変えて 美空ひばりは生涯 1000 曲以上の曲を歌い収録しているが、没して 20 年しか経っていない今ですら、我々の心に残り 歌い継がれている歌は もはやせいぜい 30 曲あまりである。叙情歌の世界も厳しいが、年齢を飛び越えて心を打つ名曲が多いせいか 歩留まりが良い様に思えるのは欲く目か。このごろ テレビ等を占領して コギャルが飛び舞って歌っている曲も、殆んどが数年で消えて行くだろう。先人が磨き上げ 選り抜いて残して呉れたクラシック音楽に、まずは耳を傾ける事が最も効率の良い良質の音楽鑑賞法であると思っている。私が若い時 世に溢れていた ビートルズやアームストロング、ドリスデイ、フランクシナトラ・・・も時間を経て選り抜かれ、今聞くと名曲 且つクラシックとして聞こえるから不思議である。100 年後の人々は、今の世に溢れている喧しい音楽も、選りすぐられて残った一握りの名曲を聴き「クラシック音楽」と呼んでいる事だろう。



## 今月の行事（1月）

- 8日（土） 1月度役員会  
1・2月度合同お誕生会  
カラオケ同好会  
9日（日） テニス同好会  
15日（土） 郷土史の会  
22日（土） 新年会  
25日（火） 園芸の会  
28日（金） ウォーキングの会

## 2月の予定

- 5日（土） 2月度役員会  
雑学講座  
カラオケ同好会



## 編集局だより

○次号の原稿締め切りは1月21日（金）です。よろしくお願いいたします。（中村）  
fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

## 新年会 会員の皆様で新年を祝いましょう！

世話人 小野 智 391-9523  
月森通夫 393-5108

平成23年1月22日（土） 午後5時～7時  
東村山駅西口 サンパルネ コンペンションホール

葉書を出し忘れた方で、御出席いただける方は1月15日（土）迄に、事務局長の風間までお電話ください。 TEL 394-5279

## 俳 壇

冬ざれや物言わぬ日の続きをり 栗島 三郎  
小休みの庭の広さや年暮るる 井垣 稻雀  
もう一つ趣味を増やして老の春 出田 麦穂  
冬晴れを真二つにして巨塔建つ  
あれこれと想ひ惑ふて日短し 風間 和夫  
言良くも行ひ難し年暮るる  
イチローの革手袋は冬休み 幸田 瑞雄  
漆黒を切り裂く冬の雷雨かな  
群雀庭馳せ回る師走かな 菊田 一平  
積み上げしメモずたかく年暮るる  
ざぶざぶと海に日矢差し牡蛎の匂 小永井 哲哉  
鱧の鰭の尾を干し日短  
夕陽浴び裸木丸きシルエット 高部 糸行  
手袋が持ち主を待つカウター  
夕陽浴び裸木丸くシルエット 内藤 慎  
手袋が持ち主を待つカウター  
宵時雨街灯一つ裏通り 丸本 北窓  
木漏れ陽に枯葉筏の目黒川  
不景気はどこに潜むぞ一の酉 八木 竜湖  
いかがかと訪う客はすきま風  
末広に波残しゆく真鴨かな  
熱燗を指に覚えて妻が注ぐ